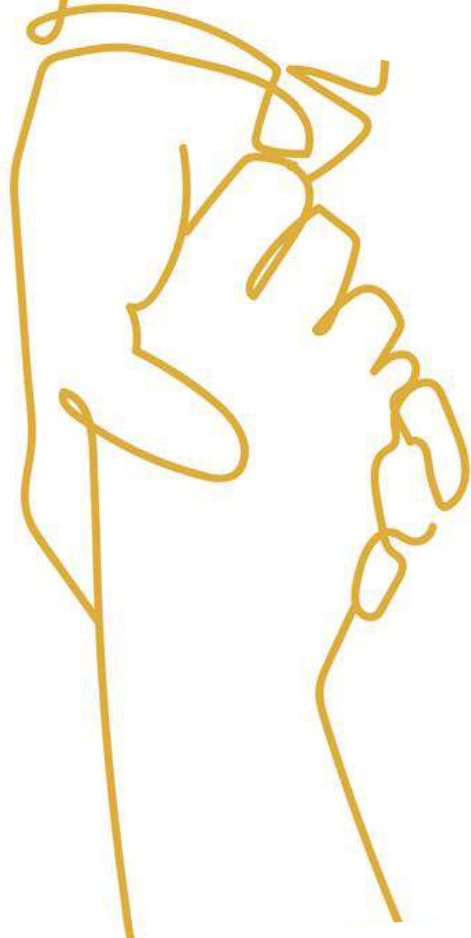


寄付のお願い



【使途】

QRコードを読み取ると「リーディング・ユニバーシティ法政募金」の専用ページが開きます。
ご支援をくださる場合は使途をご指定くださるようお願い致します。

【使途（詳細）】

研究・文化活動サポート

法政大学エコ地域デザイン研究センター



「自由を生き抜く実践知」を
育み広めるための土壌

「リーディング・ ユニバーシティ 法政募金」

法政大学の持つ知識・情報や
地域連携のノウハウを地域や
社会に広く還元する。



<https://bokin.hosei.ac.jp/project/lubokin/>



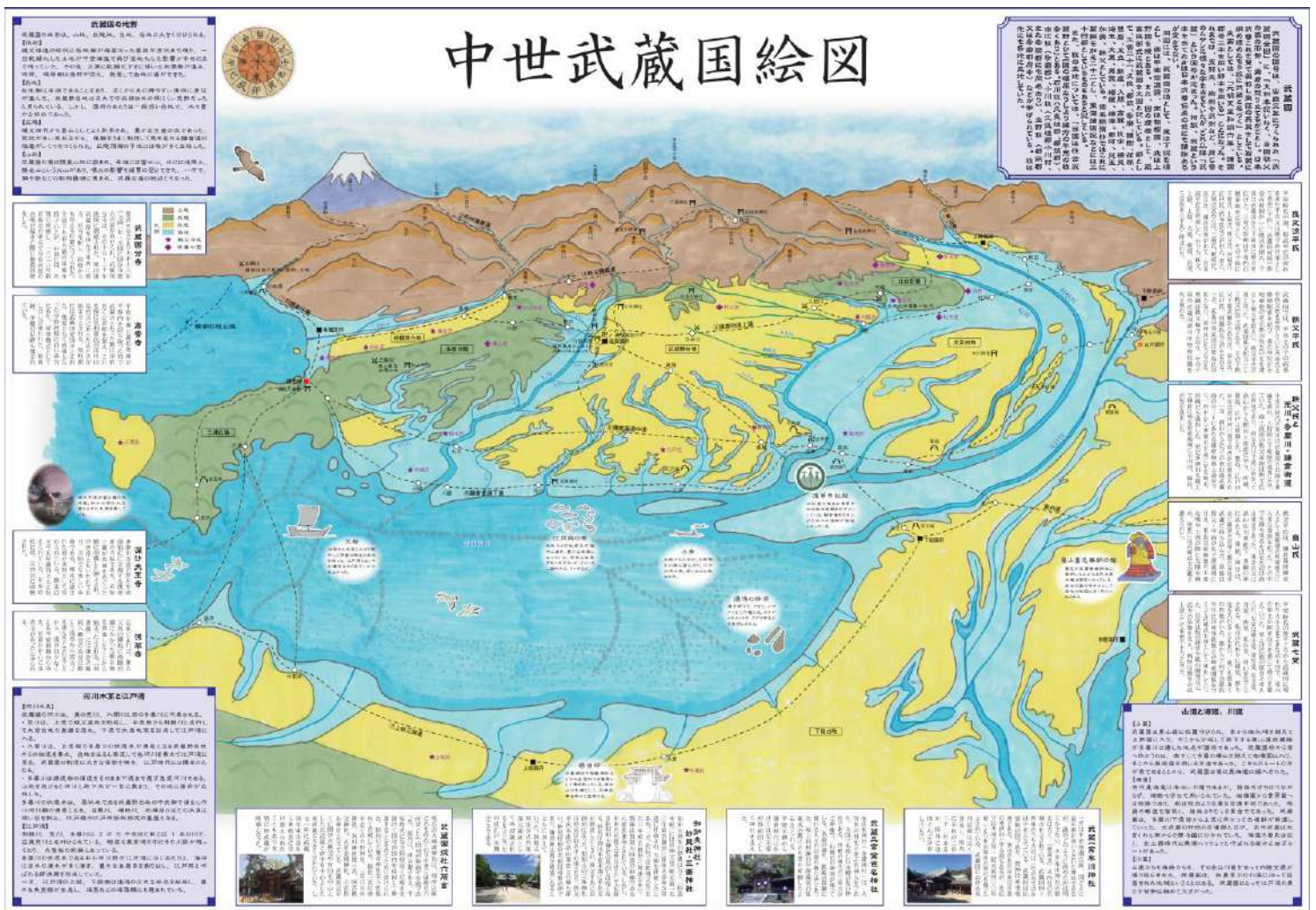
2004年に設立された本研究センターは、これまで地域の歴史とエコロジーを結びつける独自のアプローチから、江戸・東京、ヴェネチアなどの都市を「水都」という概念で多角的に研究し、様々な成果を発表してきました。

黎明期からのこうしたストックを基盤として、現在、本研究センターは文理融合の学際的アプローチにより、自然環境を基盤として成立する産業、文化、食、建築、景観、コミュニティなどの地域構造を総体的に把握し、都市と農山漁村の関係性も重視するイタリアの「テリトリーオ」という考え方を手がかりとした研究を行っています。

学外の研究者や実務家、諸団体との連携により、イタリアと日本のケーススタディを展開しながら、さらに地域のデザイン戦略について積極的に社会に発信し、特に東京都千代田区、千葉県香取市、岩手県等の地域とは協働実践も進めています。

人口減少、気候変動、巨大地震など、地域の持続可能性の複合的危機に直面している現代において、本研究センターは、法政大学が掲げる「自由を生き抜く実践知」を体現し社会に貢献します。

中世武蔵国絵図



『水都江戸の基層 中世武蔵国絵図』(2022)
江戸東京研究センター「水都ー基層構造」プロジェクトチーム 神谷博

「水都ー基層構造」プロジェクトにおいて江戸基層研究の一角を担う「府中玉川プロジェクト」の成果物。中世の武蔵国の河川水系や地形を著した地図。